

東北地方太平洋沖地震に対する狭山市の対応

市長メッセージ

平成23年3月25日

東北地方太平洋沖地震の被害にあわれました皆様に、改めて、心からお見舞いを申し上げます。
このたびの災害は、被害の規模、被災者数、さらに原子力発電所の事故と放射能漏えいなど、まさに未曾有のものであり、その影響の大きさに驚かされるばかりであります。

市では、今回の災害に際しまして、いち早く緊急消防援助隊として延べ30名を派遣するとともに、住宅並びに物資等の支援を行うこととし、市民の皆様には救援物資の提供と義援金への協力をお願いいたしました。

住宅支援につきましては、智光山荘を一時避難所として確保するとともに、長期の避難生活にも対応できるよう、民間住宅を借り上げておりますが、このような対応は、県下でも狭山市だけが実施しているものであります。今後とも、入居された被災者の皆様が安心して生活できるように、支援体制に万全を尽くしてまいります。

さらに、救援物資につきましては25日をもって締め切りましたが、狭山青年会議所や自治会連合会、地区まちづくり推進会議などの皆様との連携により、多くの物資を頂戴することができました。

この場をお借りいたしまして、ご提供いただきました方々をはじめ、受け入れや仕分け作業にご協力いただきました多くのボランティアの皆様には深く感謝申し上げます。

なお、義援金につきましては、市役所と各地区センターで受け付けておりますので、ご協力をお願い申し上げます。また、基準値を超える放射性物質の検出で、水道水の安全性が心配されておりますが、狭山市の水道水のそのほとんどは、県の水質検査で安全が確認されている大久保浄水場から送られてくるものでありますので、ご心配ありません。

火力発電所の稼働や流通状況の改善など、少しずつ明るい兆しが見え始めておりますが、これからも計画停電の継続が予定されておりますので、引き続き、節電、節水、ごみ減量にご協力をお願い申し上げます。また、火災予防のほか、被災地救援などと偽って犯罪が起きておりますので、十分ご注意ください。

市では、今後とも、市民の皆様の安全安心に全力を尽くしてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

地震発生時の3月11日の夜、西武鉄道の運休に伴い帰宅が困難となった方々に対して、急きょ、産業労働センターを一時宿泊施設として開放しました。また、同14日には、市長が西武鉄道本社に赴き、鉄道の運行時間や本川越駅までの運行区間延長を強く要望し、さらには、西武バス本社において振替輸送や安定運行についても要望しました。

市では、東北地方太平洋沖地震で被災された皆さんの救援のため、3月18日、東北地方太平洋沖地震被災者救援対策本部（本部長：市長）を立ち上げ、次の支援策を決定しました。

被災者に対する住宅支援

地震で住宅を喪失した方または原発事故の避難者に対し、長期的な措置として民間住宅への入居を支援する。
対象者／福島県以北の太平洋沿岸の被災世帯と原発事故による避難指示地域内の世帯単身世帯を除く
内容／埼玉県宅建物取引業協会彩西支部に空き住宅のあつせんを依頼
依頼住居数：100世帯分
賃借期間：3月22日～9月30日の間で6か月以内
賃借費用：市が負担
受入体制／被災者救援対策本部の下に、被災者受入対応チームを設置
受付／3月22日から受け付けを開始。受付時間は9時～20時。一時的な滞在施設として狭山市立智光山荘5室25人分を提供
100世帯の入居が決まりました

義援金の協力依頼

▼義援金箱の設置

受付期間：9月30日まで
受付場所：市役所1階エントランスホール、各地区センターや分室など計15か所
▼市職員への協力依頼

被災地への支援物資

当市の災害用備蓄品を、埼玉県経由で被災地に提供する。
大人用下着：3千枚 子ども用下着：3千枚 大人用紙オムツ：1万枚 子ども用紙オムツ：1万5千枚
生理用品：6万個 トイレトペーパー：1万個 など
市民からの支援物資の受け入れ（終了）

3月22日～25日、狭山青年会議所、自治会連合会地区まちづくり推進会議、そして多くのボランティアの皆さんなどの協力で、市民の善意による食料、衣類、寝具などの受け入れを行いました。

問合せ

▼住宅支援・義援金は福祉課へ

内線1512

▼支援物資は防災課へ

内線3694



さようなら 人間小学校

ありがとう けやきの木

3月5日、人間小学校で閉校式が行われました。1874年(明治7年)に「入曽学校」として生まれた人間小学校は、



これまで、およそ6千名の子供達を送り出してきましたが、本年3月31日をもって137年の長い歴史に幕を閉じました。

可能性を信じ、未来にはばたけ
がんばれ けやきっ子!

児童・生徒の登下校の安全パトロール

本年度も、「幼稚園・学校の安全確保のためのパトロール」を実施します。この活動は、子供達の安全確保と市民の防犯意識の高揚を目的に行うもので、下校の時間帯に合わせ、通学路を重点的にパトロールします。

また、域防犯ネットワーク・アポックや愛の見守り運動とも連携して行っています。



駅伝大会終了後、選手や関係者の皆さんと

私たちが暮らす新狭山地区には、県内でも有数の製造品出荷額を誇る川越狭山工業団地があるため、企業の社宅や寮が数多く点在しています。この中には、アマチュアスポーツ界の名門に数えられるホンダの硬式野球部や陸上競技部の寮などもあり、普段から選手の皆さんと地元住民のコミュニケーションが図られています。

陸上競技部が出場した元日の全日本実業団対抗駅伝大会(ニューイヤースタッド)には、自治会の会員15名が応援にかけつけ、赤城おろしに吹かれながら、熱い声援を送りました。

これからも地域の代表であるホンダの選手を、自治会を挙げて応援していきます。

いづき自治会

新狭山地区連合自治会

姉妹・友好都市 見てある記

螺鈿(ラジョン)

大韓民国統營市



統營市の特産品に螺鈿細工があります。螺鈿という字は、サザエを意味する「螺」と、道具で組み合わせる意味の「鈿」を合わせてできていて、螺鈿細工を作る技術を持つ人を螺鈿匠と呼び、統營市では重要無形文化財に指定しています。



また、統營市には螺鈿専門の美術館があり、小物や装身具だけでなく、螺鈿を使用した絵画なども展示されています。芸術に関心の高い統營市の姿勢を感じることができる施設です。

狭山の史跡

公式モバイルサイトで市内の史跡を巡るコースを多数紹介しています。ぜひご覧ください。

ねずみの図

所在地 西浄寺から寄託を受け博物館で保管

「ねずみの図」は、その名にちなんで奉納されたもので、たくさんのネズミが張り子の木槌を作っている姿が描かれています。作者は、江戸末期から明治初期に活躍した河鍋曉斎で、その画法は、鋭い写実力を持つ卓越した筆技と機知に富んだ着想にあふれ、この絵にも随所にそれが見られます。



柏原にある西浄寺は、別名を甲子寺といい、本尊は木造の大黒天立像です。大黒様のお使いがネズミであるところから、十二支の子をあてて甲子寺と称されるようになりました。